

# 第1回委員会におけるご意見に 関する資料

令和5年8月29日 第2回岐阜市立女子短期大学将来構想委員会資料

# 岐阜市における課題 (岐阜市未来のまちづくり構想より) と岐女短での取り組み

## 岐阜市の課題

- ・人口減少
- ・社会保障費の増加
- ・公共施設の老朽化
- ・出生数が減少傾向
- ・子どもの意欲が低調
- ・高齢者の孤立や孤独の懸念
- ・健康状態に満足している人が5割程度
- ・自治会加入率が減少傾向
- ・温室効果ガス排出量・ごみ焼却量の削減が低調
- ・南海トラフ巨大地震の被害想定が深刻
- ・就業者1人当たり総生産は県平均より低水準
- ・創業比率が中核市平均や全国平均より低水準
- ・人口集中地区の人口密度が低下傾向
- ・空き家が増加

## まちづくりの基本的な考え方

### ■ オール岐阜のまちづくり

- 市民一人ひとりが主役のまちになる！
- 「協働」がみんなの合言葉になる！
- 人を支え応援する、温かいまちになる

### ■ シビックプライドの醸成

- 新たなつながりが生まれ、多様なコミュニティが育つ！
- 一人ひとりの岐阜愛が育まれる！

### ■ DXと脱炭素化

- 暮らしを豊かにするデジタル技術の活用！
- 情報格差にも丁寧に対応！
- みんなで脱炭素化に取り組む！

### ■ 持続可能で選ばれるまち

- 誰一人取り残されないまち
- 子育てしやすく働きやすいまち

市民、企業、団体、地域、行政の異なる強みや資源を持ち寄り、一緒にアイデアを出し合い、関わり合う。そうした市民との協働や官民連携などで地域課題を解決。

→ 【自治体や周辺大学との連携事業 (SPARC、CENCER)】

→ 【市や地域への具体的貢献】

子どもや学生など若い世代もまちづくりの主役。若い世代も、まちをフィールドにして、起業やまちづくりに挑戦したくなる土壌。この岐阜の地から新しく事を成そうとする人たちを支え応援する機運を醸成。

豊かな自然環境と、新たな開発や整備の進む都市環境が融合した岐阜ならではのまちの風景や、そこでの体験が、一人ひとりのアイデンティティとして根付き、岐阜愛を育む。

→ 【岐阜学】

岐阜市がこれまでも大切にしてきた「こどもファースト」の理念に基づく幅広い子育て支援と、「ワークダイバーシティ」（多様で柔軟な働き方）の推進等による多様な雇用の創出を両輪として取り組み、「子育てしやすく働きやすいまち」を目指すことで、市内外から「選ばれるまち」につながります。

→ 【地元の進学の間】 【市外からの若者流入】  
【地元への就職・定着 (人材の供給)】

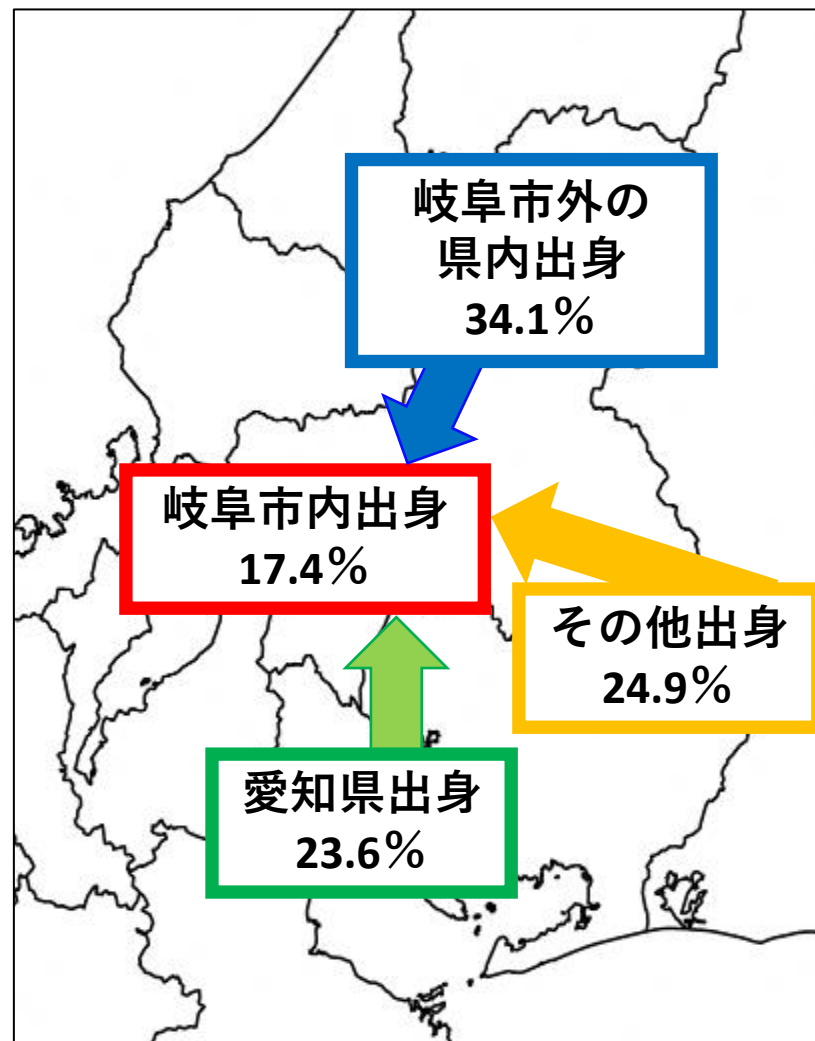
# 岐阜市における岐女短の貢献 【市外からの若者流入】

## 岐阜市への若者の流入効果

- 岐阜市の内外、県外を含む各地から学生が流入し、交流。
- ・ 岐女短の入学生のうち、市内出身者は約2割。約3割が岐阜市以外の県内、残り約半数は県外から岐阜に集まる。

上段：人数  
下段：比率

入学者 出身地	R1	R2	R3	R4	R5	合計
岐阜市内	37人 15.1%	43人 19.1%	25人 15.2%	29人 14.8%	40人 24.0%	174人 <b>17.4%</b>
岐阜県 ※市内除く	82人 33.3%	71人 31.6%	53人 32.1%	78人 39.8%	56人 33.5%	340人 <b>34.1%</b>
愛知県	66人 26.8%	58人 25.8%	39人 23.6%	44人 22.4%	29人 17.4%	236人 <b>23.6%</b>
その他	61人 24.8%	53人 23.5%	48人 29.1%	45人 23.0%	42人 25.1%	249人 <b>24.9%</b>
合 計	246人 100.0%	225人 100.0%	165人 100.0%	196人 100.0%	167人 100.0%	999人 100.0%



# 岐阜市における岐女短の貢献 【地元への就職・定着】

岐阜で学んだ人材の地元経済界への貢献と、県内外での活躍

- 入学者の割合とおおむね同程度の割合が地元で就職し、地元経済界に貢献（就職者のうち約24%が岐阜市内、約21%が岐阜市以外の県内に就職）。
- 県外就職のほか、4年制大学への進学や、海外留学を含め、「岐阜をフィールドとして」学んだ学生が内外で活躍。

## ● 過去5年間の勤務地別就職状況

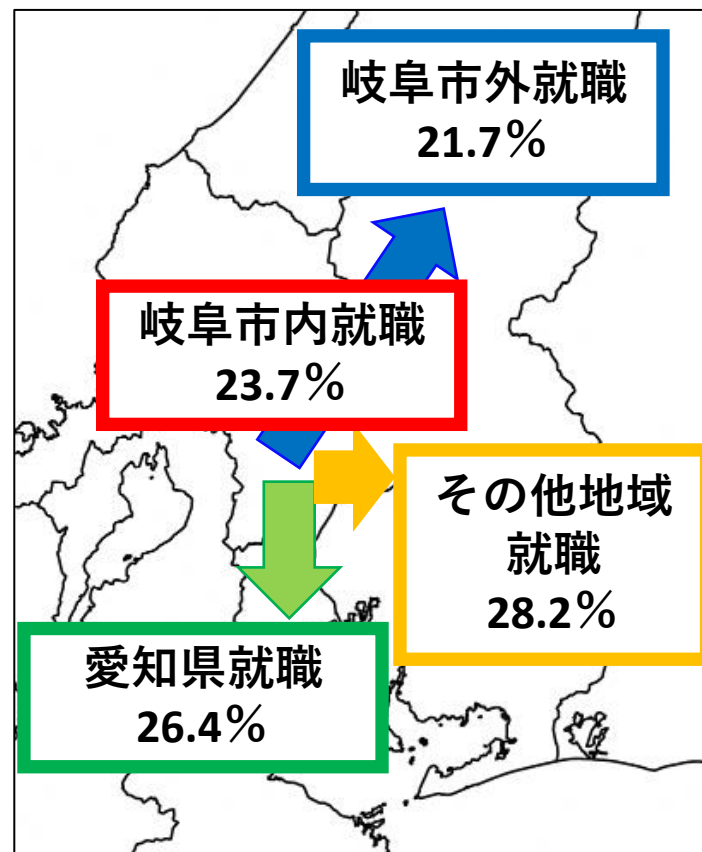
(単位:人)

年度	H30	R1	R2	R3	R4	5年間の計・比率		
就職者数	199	193	176	164	112	844	100.0%	
地域	岐阜市内	44	45	43	41	27	200	23.7%
	岐阜県内 ※市内除く	41	45	42	34	21	183	21.7%
	愛知県内	62	52	41	38	30	223	26.4%
	その他	52	51	50	51	34	238	28.2%

## ● 過去5年間の地域別編入・進学等状況

(単位:人)

年度	H30	R1	R2	R3	R4	5年間の計・比率		
編入・進学等	33	39	37	38	27	174	100.0%	
地域	岐阜県内	6	7	6	5	5	29	16.7%
	愛知県内	10	13	18	18	7	66	37.9%
	その他	17	19	13	15	15	79	45.4%



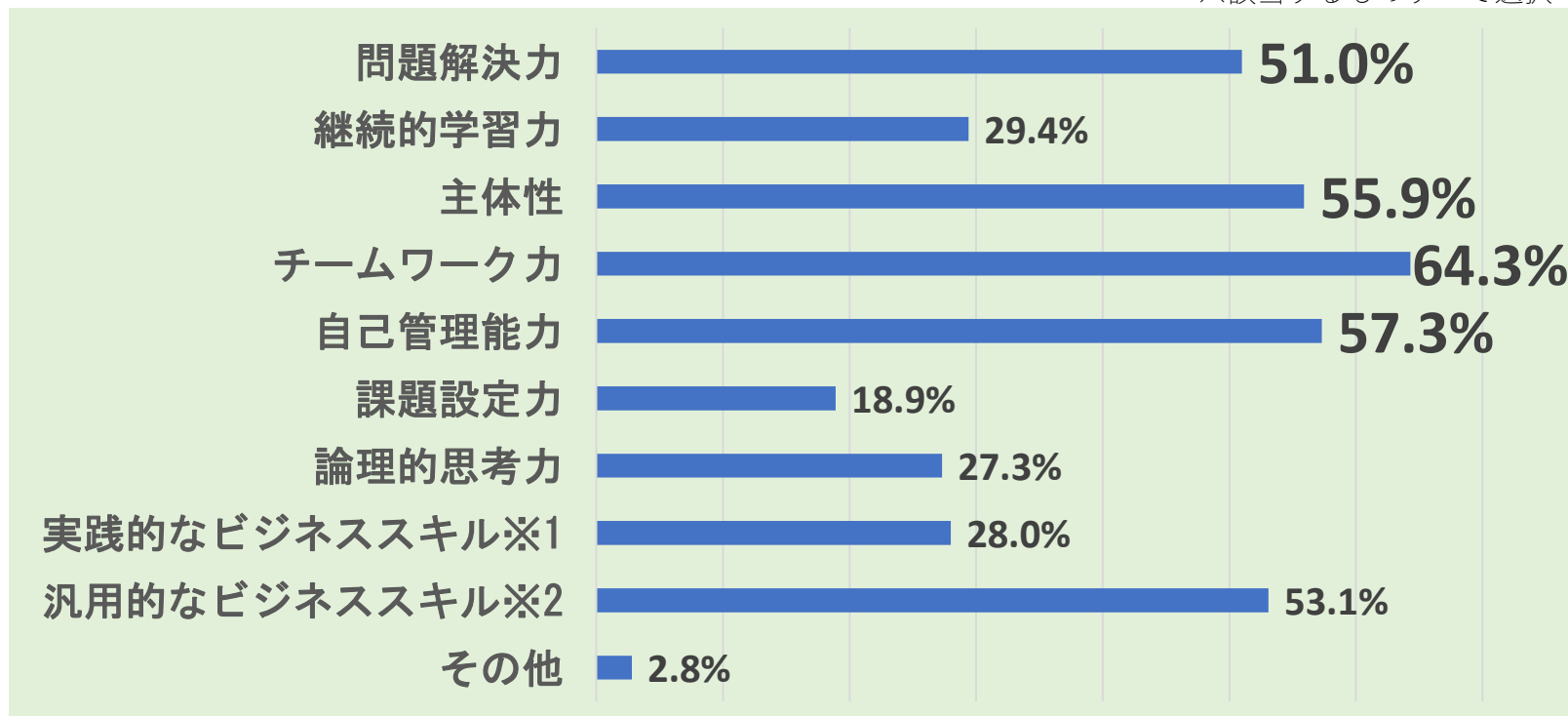
# 岐阜市における岐女短の貢献 【市や地域への具体的貢献】

地元企業が本学学生に期待する「チカラ」を地域連携活動で修得

- 「チームワーク力(64.3%)」が最も高く、
- 次いで「自己管理能力(57.3%)」が高い。

Q.学校で取得してほしいスキルを教えてください。

※該当するものすべて選択



※1 就職先で役立つ専門資格等

※2 コミュニケーション、マナー等

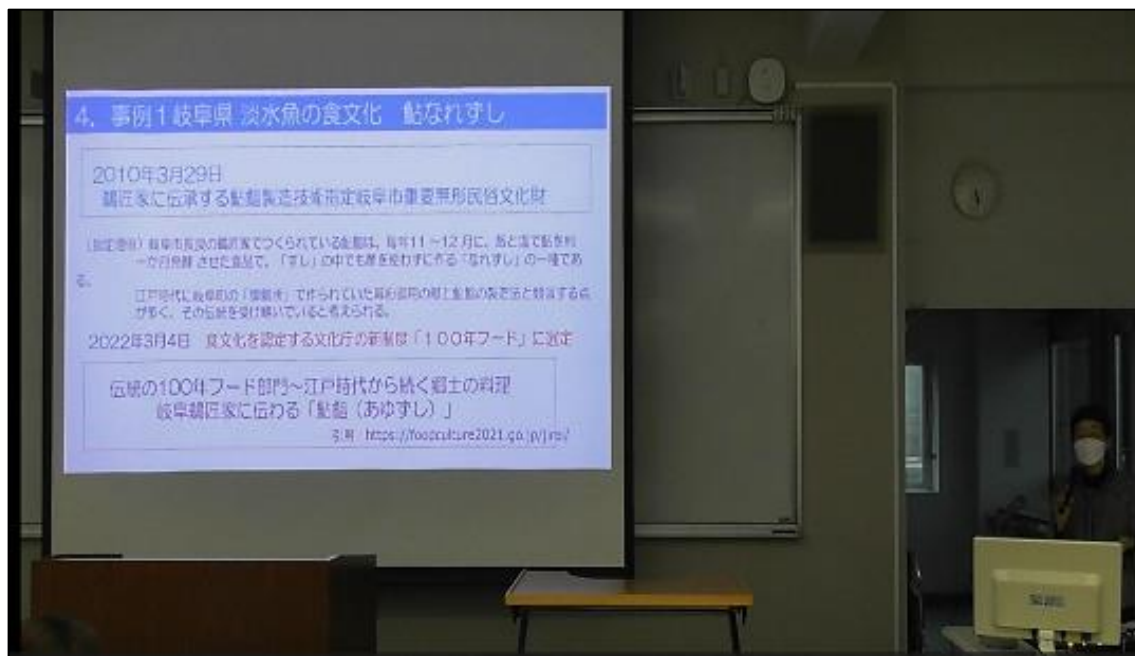
【出典：岐阜市立女子短期大学あり方検討に関するアンケート調査結果】

調査期間R3.12.1～12.17 岐阜圏域の400社 有効回答率36%

## 地元への理解醸成の取組と、教員・学生による地域貢献①

- 専門知識・技術を、岐阜という地域をフィールドに実践することを通じ、学生の地元への理解を醸成するとともに、学修と連動した地域貢献。

### ・岐阜学（R5前期からの取組み）



### 岐阜学入門（1年前期）

【目的】 岐阜の基礎知識の修得、“デザイン思考”のトレーニング、学科の学びと岐阜の繋がり意識づけ

- ① テーマに基づいた講義を受講
- ② 受講後、講義から分かったこと、テーマの課題について、指定する4つの観点(倫理面、科学面、その組合せ)から考察し、考えをまとめてレポートを提出。

- 【課題内容】
- ① ガイダンス・デザイン思考
  - ⑥～⑧ 岐阜の観光・国際化
  - ⑬ 暮らし（ジェンダー）
  - ⑮ 世界農業遺産

- ②～⑤ 岐阜の食文化と食物
- ⑨～⑫ 岐阜の産業と暮らし
- ⑭ 岐阜における環境共生



## 地元への理解醸成の取組と、教員・学生による地域貢献②【CeNCER】

- 専門知識・技術を、岐阜という地域をフィールドに実践することを通じ、学生の地元への理解を醸成するとともに、学修と連動した地域貢献。

### ・企業等との連携(CeNCER事業)



モレラ岐阜(商業施設)の通路デザインを、企業と企画。一般来場者とワークショップ形式(SDGs啓発、廃材活用)で壁面を作成。



養老町特産ブランド新商品共創ワークショップに参加。地元企業と意見交換、「養老サイダープリン」の販売促進やパッケージデザインを企画提案。

### ・市民への公開講座(R5年度講座)

- 【リカレント講座】心豊かに生きるための日本文学講座、女性のための健康栄養講話 など
- 【資格試験対策講座】販売士検定、中国語検定、TOEIC対策、管理栄養士国家試験 など
- 【ワークショップ】簡単に作れるこども服、土壁アートを作って家に飾ろう

## 地元への理解醸成の取組と、教員・学生による地域貢献③【SPARC】

- 専門知識・技術を、岐阜という地域をフィールドに実践することを通じ、学生の地元への理解を醸成するとともに、学修と連動した地域貢献。

(岐阜大学・中部学院大学と協働)

### ・SPARC事業への期待

#### 短期的改革加速

岐阜学、テーマインス、連携開設科目で内容高度化

#### CeNCERの充実

地域ラボとの連携、大学間連携の継続化

#### 教職員の能力向上

共同研修、教職員の交流機会の増

#### 編入学の体制

短大→大学の新たな学び

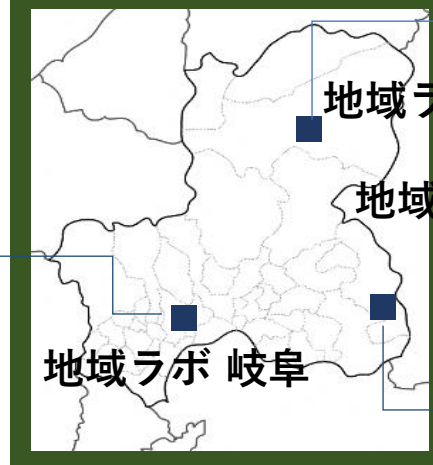
地域ラボを舞台として地域課題PBL科目(岐阜学)

地域ラボを中心とした販わい創出

高大接続事業、リカレント教育事業



### 地域ラボ



地域ラボ 高山

地域ラボ 中津川

地域ラボ 岐阜

